



ソーシャルワーカーデー2017in北海道“海の日カフェ”

～人を支え 自らを知り 社会を変える専門職からいま伝えたいこと～

## 開催要項（第2版）

いまソーシャルワーカーという福祉の専門職が注目されています。

社会福祉の現場では、いろいろ悩みながらも多くの人を支え、やりがいを感じて働く職員がたくさんいます。そういった存在やソーシャルワーカー等がどんな職業かを今後の進路を考える高校生等に知ってもらうために企画しました。

今回開催する“海の日カフェ”では、参加者が小グループごとに飲み物やお菓子を楽しみながら、福祉の最前線で働く若手ソーシャルワーカー、ケアワーカー数名から『福祉現場のリアルと魅力』を話してもらいます。

これまでにない世界を知ることが出来ると思います。

1. 日時 平成29年7月17日（月・祝）13時00分～15時00分
2. 場所 かでの2.7 5階 520研修室（札幌市中央区北2条西7丁目）
3. 参加対象 社会福祉の関心を持つ高校生（中学生も可）や保護者、教員
4. 参加定員 50名（定員に達し次第、締め切ります。）
5. 参加費 無料
6. 内容
  - （1）13:00～13:15 主催者挨拶、オリエンテーション
  - （2）13:15～13:30 説明「ソーシャルワーカーとは何か」
  - （3）13:30～14:30 グループ懇談（語り手が各グループを回ります。）  
テーマ『私のしごとはソーシャルワーカー』  
～福祉現場のリアルと魅力～  
語り手 主催4団体会員ソーシャルワーカー、ケアワーカー
  - （4）14:30～14:45 休憩
  - （5）14:45～15:00 全体まとめ、意見交換

## 7. 主催

一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会、一般社団法人北海道介護福祉士会、一般社団法人北海道精神保健福祉士協会、公益社団法人北海道社会福祉士会

## 8. 後援

北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道私立中学高等学校協会、社会福祉法人北海道社会福祉協議会、社会福祉法人札幌市社会福祉協議会、一般社団法人日本社会福祉士養成校協会北海道ブロック、北海道精神保健福祉士養成校協会、公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会北海道ブロック会

## 9. 参加申し込み及びお問い合わせ先

下記「参加申込書」に必要事項をご記入の上、郵送・FAX・メールにてお申込み下さい。

### 【お申込み・お問い合わせ先】

公益社団法人北海道社会福祉士会事務局（平日 9:30～16:30）

〒060-0002 札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 かでる 2.7 4 階

電話 011-213-1313 FAX 011-213-1314 メール info@hokkaido-csw.or.jp

### +++ソーシャルワーカーデーとは+++

社会福祉関係の全国 17 団体が加盟するソーシャルケアサービス従事者研究協議会は、ソーシャルワーカーの社会的認知度を高めるために、2009 年から「海の日」を我が国のソーシャルワーカーデーとして創設しました。

2017 年度も全国各地で、海の日を中心にソーシャルワーカーデーに係るイベントを行います。

北海道社会福祉士会 事務局 行 《FAX 011-213-1314》

## 『2017 年度 ソーシャルワーカーデー “海の日カフェ”』参加申込書

お名前	学生・保護者・教員
学 校	_____高校・中学校 _____年生
ご連絡先	(電話番号)
参加する動機（ございましたら記載願います。）	

当日はこんな話を聞くことができます!!

当日の語り手として選ばれた若手ソーシャルワーカーがどんなところで働いていて、当日どんな「福祉現場のリアルと魅力」を語りたいと思っているか、先取りしてお伝えします。

若手ソーシャルワーカーが、参加された皆様の席を順番に回りますので、いろいろな現場の話をまとめて聞くことができ、しかも疑問に思ったことは気軽に質問もできる大変お得なイベントです。

○ 働いている場所の例

- ・ 地域包括支援センターの社会福祉士
- ・ 高齢者のデイサービスセンターの生活相談員
- ・ 病院（脳神経外科）の医療ソーシャルワーカー
- ・ 施設等の介護ケアワーカー

○ 当日語りたい「福祉現場のリアルと魅力」の一例

- ・ 高校生の進路を決める時期に福祉を選んで進学したこと、大学での学び、ボランティア活動、実習等での経験を通して、現在の職場で働きたいと思うようになった思考の流れや変化などをお話ししたいです。
- ・ 施設、事業所、病院等のソーシャルワーカーとは異なる「地域のソーシャルワーカー」「総合相談ソーシャルワーカー」としての魅力ややりがいをお伝えしたいです。
- ・ 1年目に介護職員として勤務をしたことが、今生活相談員として、利用者の方からお話をお伺いすることに役立っていることをお話ししたいです。